

# 文化交流の交差点「栃木」の 起源を縄文時代に探るⅤ



國學院大學栃木短期大学

# 遺跡概要

- ◆ 栃木市藤岡町に位置する縄文時代前期～晩期(約7000年前～3000年前)の遺跡
- ◆ 後期～晩期を中心とした環状盛土遺構と推定される遺構
- ◆ 2015年から発掘調査を開始(今回9次調査)

# 上空から見た中根八幡遺跡

中根八幡神社



今回調査場所(C区)

# 今年度の調査について

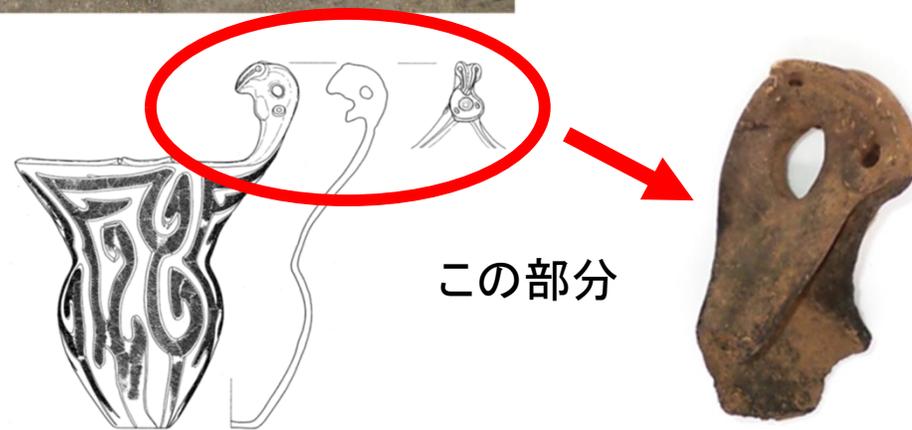
- ◆ 今年度は、前年度に引き続き盛土遺構の存在が推定される遺跡東端部分（C区トレンチ・C区北トレンチ）の調査を実施。
- ◆ C区トレンチの北半分に設定したサブトレンチと、C区北トレンチでは、遺物包含層を掘り下げた。そして、地山のローム層面で縄文時代後期初頭（称名寺式期：約4,000年前）のピット群を検出。これは住居の一部の可能性がある。
- ◆ ここからは、後期初頭を中心とした土器片が多数出土。出土遺物の中で特筆すべきものとしては、後期初頭（称名寺式期）のトリを模した把手がある。この把手は栃木県内を中心に分布するものである。ほかには石庖丁に類似した石器も検出した。

# 発掘調査のようす①

## トリを模した獣面把手

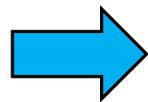


- 後期初頭(称名寺式)では、トリを模した獣面把手がつく
- 栃木地域を中心に分布する土器



## 発掘調査のようす②

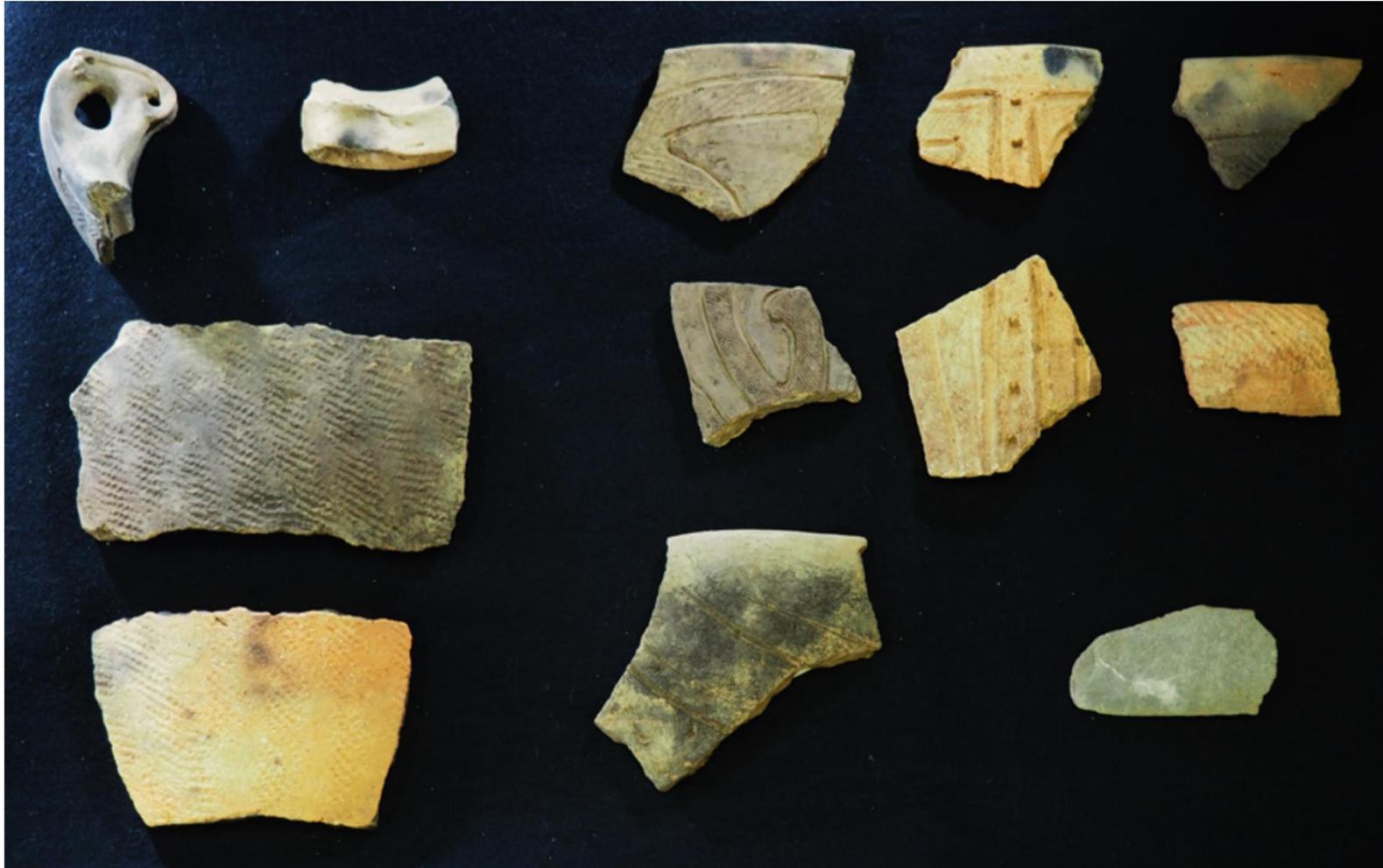
- 縄文時代後期初頭のピット群を検出
- 住居の一部の可能性がある



これをもって中根八幡遺跡  
の調査はすべて終了!!



# 出土した遺物



後期初頭の土器(称名寺式)

石庖丁を模した石器

# 現地説明会

- 8月27日(日)に現地説明会と縄文まつりを開催しました。
- 炎天下の中、たくさんの方々が現地説明会に参加しました。



KOKU TOCHI 中根八幡遺跡発掘

なかね はちまん

2023年8月21日(月)～28日(月)

現地説明会・縄文まつり

みんな来てね!! 8月27日(日)10時～15時

遺跡説明・遺物展示  
縄文なべ試食・縄文クッキー作り・石器で料理!  
縄文の音体験 ♪ 石や角をたたいてリズム演奏

問い合わせ  
國學院大學栃木短期大学  
日本文化学科  
日本史フィールド  
0282-22-5511 (代)

場所：栃木市藤岡町中根330 中根八幡神社境内  
中根八幡遺跡の位置や昨年の発掘成果についてはホームページをご覧ください。  
<https://www.kokugakuintochigi.ac.jp/tandai/>  
主催：國學院大學栃木短期大学・奈良大学文化財学科  
協力：中根地区・栃木市教育委員会

本事業は栃木県大学地域連携活動支援事業（文化交流の交差点「栃木」の起源を縄文時代に探るV）の一環として実施します

# 縄文まつり①



のぼり旗はphotoshopで自作



縄文の音の体験(人間教育学科)



縄文衣装を着た短大生



大勢の人が来場(200人)



縄文衣装を着た参加者

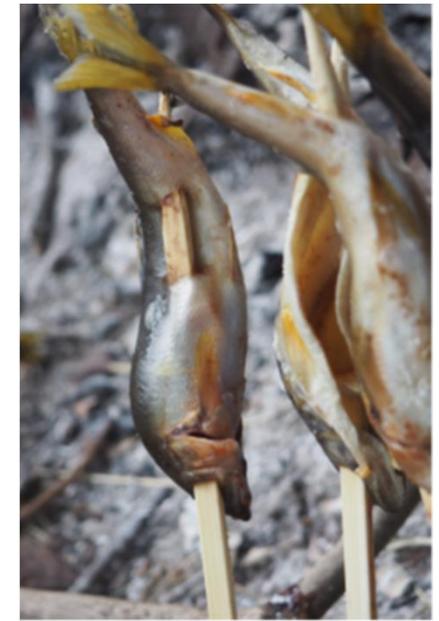
## 縄文まつり②



縄文なべ(鹿&豚)



栗とクルミで作った縄文クッキー



アユとヤマメの塩焼き



黒曜石のナイフで調理体験



# 学 習 講 座

## 「栃木の縄文時代をもっと知ろう」

- 8月5日(土)第1回講座・ワークショップを開催
- とちぎ蔵の街楽習館
- 講座「栃木県南地域の縄文中期の土器」  
講師:塚本師也 先生(益子町教育委員会)
- ワークショップ「縄文土器の文様施文の体験」  
講師:植田 真 先生(國學院大學兼任講師)
- 参加者 約40名



國學院大學栃木短期大学が実施している中根八幡遺跡発掘調査に関連する事業です。この地域には「渡良瀬縄文文化圏」が存在していたことが分かってきました。その内容を知っていただきたいと思い、この講座を開催することにしました。各分野の考古学研究者が分かりやすく解説します。

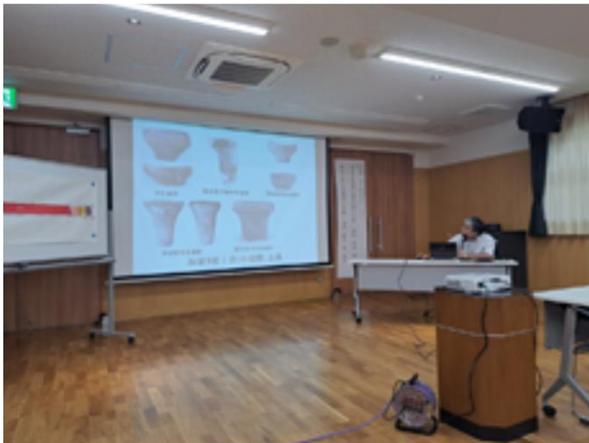
- ◆ 第1回講座・ワークショップ 令和5年8月5日(土) 13:30~16:30  
「栃木県南地域の縄文中期の土器」 講師:塚本 師也(益子町教育委員会学芸員)  
「縄文土器の文様施文の体験」 講師:植田 真(國學院大學文学部兼任講師)
- ◆ 第2回講座・ワークショップ 令和5年11月11日(土) 13:30~16:30  
「渡良瀬川流域の縄文時代後・晩期の土器」 講師:林 克彦(五島美術館学芸部参与)  
「縄文土器の耳飾りづくり」 講師:角田 祥子(榛東村耳飾り館係長・学芸員)
- ◆ 第3回講座・ワークショップ 令和5年12月9日(土) 13:30~16:30  
「栃木市内の縄文遺跡」 講師:芹澤 清八(シン技術コンサル技術顧問)  
「黒曜石の石鏃づくり」 講師:大工原 豊(國學院大學栃木短期大学)



会場:キョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市市民交流センター)  
定員:各講座30人(参加費無料)  
申込先:國學院大學栃木短期大学日本史フィールド(大工原)  
電話:0282-22-5511  
メール: daikuhara@kokugakuintoshigi.ac.jp  
申込締切:講座開催前日  
主催:國學院大學栃木短期大学 協力:栃木市教育委員会文化課

この講座は令和5年度栃木県大学地域連携活動支援事業「文化交流の交差点「栃木」の起源を縄文時代に探るV」の活動の一部です。

# 塚本先生の講座のようす



## 平川遺跡の調査成果

- 地域差が大きく、複数の系統が併存する中期中葉から、広い地域にで類似した土器を使う中期後葉への過渡期。



B. P. 5,500		B. P. 5,380		B. P. 5,000				B. P. 4,400	
五領ケ台式	阿玉台式				加曾利E式				
	I a 式	I b 式	II 式	III 式	IV 式	I 式	II 式	III 式	IV 式
	(七郎内II群土器)								
				(横沢型)					
				(坪井上型)					
				(火炎系土器)					
				(樽ノ上型)	(津法寺型)				
大木7 a 式		大木7 b 式			大木8 a 式		大木8 b 式	大木9 式	大木10 式



平川遺跡出土土器

# 植田先生のワークショップのようす



Copyright © 2023 Makoto Ueda All Rights Reserved.

1

國學院大學栃木短期大學学習講座2023  
「栃木県の縄文時代をもっと知ろう」  
縄文土器の文様施文体験

國學院大學文学部兼任講師  
植田 真  
「まんがでわかる考古遺跡発掘ワーク・マニュアル」発売中！  
書籍詳細: [まんがでわかる考古遺跡発掘ワーク・マニュアル](http://man-ga-wakaru.com)・創元社 (isogensha.co.jp)



作成した縄文原体(羽状縄文)

## 今後の予定

今年度の調査成果を  
に斯花祭(学園祭)で  
展示(10月28日・29  
日)

11月に耳飾りづくり、12  
月に石鏝づくりなどの  
講座・ワークショップを  
蔵の街学習館で開催

今年度の調査成果を  
栃木市役所にて展示  
(12月12日～26日)